

行方サッカー少年団 15周年記念

8月20日(日)、高学年生は新しいユニフォームに身を包み、少年団OB40名を招いて、行方サッカー設立15周年式典が開催されました。10周年時に立てた記念碑の前面に、15の金色の星マークが輝きま

す。団長の川島さんは、「昔は試合になかなか勝てませんでしたが、最近は大逆转を取れるまでに上達しました」と嬉しそうに語りました。社会人になってもサッカーを続ける人が多く、現在OB4人がコーチとして、子どもたちを指導しています。



農業・農産物のすばらしさを地域の子どもたちに伝え、世代を超えた交流を図ることを目的に、8月20日、北浦地区女性農業団体「虹の会」・北浦鋤頭会議・北浦農業担い手会の3つの農業団体による野外学習会が行われました。

北浦湖畔「風と緑の広場」に集合した小学生とその保護者は約150人。参加者たちは、野菜に関するクイズに参加し、ひまわり迷路では、元氣いっぱい走り回り、最後は、大人も子どもも、地元野菜入りのトン汁や流しうどんをお腹いっぱい味わいました。

北浦の野菜を 知ろう・食べよう

表紙 Phot

可憐な巫女舞いと 勇壮な奉納相撲

けそぬま
化蘇沼稻荷神社(内宿)で、8月25日、巫女舞いや奉納相撲など秋の訪れを告げる伝統行事が行われ、多くの地域住民でにぎわいました。

拝殿では、当番地区次木の武田小5年生細内鞠香さん、伊勢山莉子さん、店曲千夏さんの3人が巫女舞い「浦安の舞い」を披露。優雅な舞いと衣装で会場を魅了しました。

また、奉納相撲では、旧武田村の7地区から小学生と成人約90人が参加し、相撲の力と技を競いました。



残暑の厳しい8月26日、長野江地区の「北浦広葉樹の森」において、平成15年3月に植樹した河津桜周囲の下刈り体験が行われました。

地元の三和小、武田小、北浦童太鼓の児童及び父兄、森林ボランティアなど約170名が参加。参加した児童は、かまの使い方などの指導を受け、桜の木を守るように、伸びた周囲の雑草を刈り取りました。

この下刈り体験により、緑を守る大変さと大切さを実感した様子。その後、スイカ割りが行われ、参加者の下刈りの疲れを癒しました。

みんなで森を 守り育てよう